

2014年5月12日(月)

東北亜観光学会の報告

文責：大阪商業大学総合経営学部商学科3回生 山本真生

2013年8月20日～22日 東北亜国際発表大会に参加するため韓国を訪問。

《1日目》 関西空港出発をして金浦国際空港へ

今回の発表は四天王寺大学、立命館大学の方たちと行動を共にしました。金浦国際空港到着後空港内で1時間の休憩をとり、約3時間かけてホテル移動しました。途中サービスエリアに立ち寄り、韓国名物の栗饅頭などを食べました。ホテル到着後には2時間ほど自由時間を設け、夕食には親睦を深めるため3校の参加メンバーで焼肉を食べに行きました。

ホテルに帰宅後には翌日の発表の練習をして就寝しました。



《2日目》 東北亜国際観光学会

ホテルにて朝食後、会場である金泉大学に移動しました。午前中は国道交通省など国家機関の方々の発表を拝見し、昼食後に学生の発表が始まりました。私たちの『京都における若年層受け入れの現状と課題』の発表はたくさんの質問を頂くことができ、先生方には新たな調査の案や、現状の分析方法の訂正などのご指摘をいただき、今後の活動が楽しみだというお言葉も頂きました。自分の発表が終わった後は、様々な学校の発表を聞き、日本の大学の学生だけではなく、韓国の学生の方々とも話をして、国際的な交流をすることができました。

夜には全体の懇親会に参加させていただき、他大学の教授や学生、日本の国土交通省の方ともお話をさせていただきました。また、韓国の文化にも触れることもできました。



≪ 3日目 ≫ 観光・帰国

朝食後にホテルを出発し、釜山市内へ。観光で釜山タワーを訪れ、国際通りで買い物をしました。そのあとは食品店に寄って空港へ向かい帰国しました。



東北亜観光学会の発表を終えて、自分たちが研究してきたことに対して様々な評価を頂けて、今後の活動につながる結果となりました。問題点として調査方法の甘さを感じました。そのために、外国人へのアンケートを強化するなどしてニーズのさらなる追及をしていきたいです。また、旅館などの現状と、実地しているプランについての調査が必要だと確信しました。そのため今後の研究方針は、今までの研究内容をさらに深く追及していき、もっと顧客の意見に耳を傾けることだと思います。韓国にいったおかげで、他校の学生たちと親睦を深められました。またこのような発表の機会をもてたらと思います。